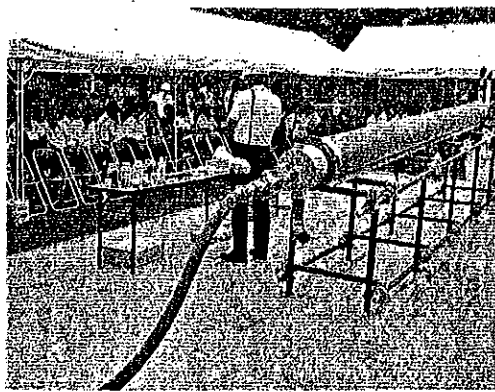


# 模範施工見学会開く



セルクリート工法研究会

セルクリート工法研究会(大嶋武会長)は6月24、25日の2日間、東京都と埼玉県でセルクリート工法の模範施工見学会を開催した。写真。

見学会では、内部が見える透明な管を満水状態にしてセルクリート充填(じゅうてん)材を注入し、滞留水がある条件でも材料分離や空洞が発生しにくいという特長を紹介した。2日間で発注者や建設コンサルタントなどの技術者ら約160人が参加した。

同工法はリサイクル繊維物質質混和材(セルクリート)を使ったセルクリート注入充填工法で、水遣管や下水道管などの廃止埋設管の充填処理工法で採用実績を増やしている。

見学会で大嶋会長は「滞留水があっても確実に充填できる画期的な本工法の特長を確認してもらい、地域のインフラ整備に役立ててほしい」とあいさつした。